

中央 学校だより

「試行錯誤」 仲間とともに考える子どもたち

令和6年4月25日
校長 川上 り彩

4月も残すところ5日となりました。

4/11（木）の入学式では、式辞の中で、「まちガエル」「ふりカエル」「かんガエル」の3匹のカエルと仲よくすることで、心身ともに豊かに成長してほしいという話をしました。教室をのぞくと、どの学年も、子どもたちが「まちガエル」「ふりカエル」「かんガエル」と真剣に向き合い「試行錯誤」する姿に出会うことができ、うれしくなります。

例えば、5年生。家庭科の授業が始まりました。手縫いをするためには、縫い針に糸を通して糸端に玉結びをする必要があります。子どもたちにとっては、一つ一つが初めての経験です。先生の説明や教科書の写真、タブレットの動画などをもとに繰り返し挑戦する子どもたち。それだけに、玉結びがうまくできたときの感動は、大きいものがあります。



玉結びに挑戦！

6年生は、調理実習の計画を自分たちで立てていました。

決められた時間内に手際よく調理を進めるためには、洗う、皮をむく、切る、炒めるなどの調理の手順を考え、準備から後片付けまでを見通し時間を配分する必要があります。作業の流れや班での分担・協力について、タブレット上で試行錯誤しながら決めていました。

4年生は、学級活動の時間に、学級目標を考えていました。「どんな学級にしたいか」を一人一人が考え、班で話し合い、出された意見を学級全体で共有。言葉にこめられた思いを確認しながら仲間分けをして、目標に入れたい言葉を決めていきました。「全校児童が大切にしている『三つ葉の心』を入れよう」という意見に対して、「『三つ葉の心』を大事にするのは4年生だから当たり前。あえて入れなくてもいいのではないか」という意見が出されるなど、4年生としての自覚と成長が感じられる話し合いになったそうです。

これら3つに共通しているのは、「よりよいものを求めて子どもたち一人一人が繰り返し考えていること」と、「意見を出し合いとともに考える仲間がいること」です。そんな仲間がいるからこそ、安心して「難しい。どうやったらできるの?」「よく分からないから、教えて」と助けを求めたり、「自分はこんなふうに考えたけれど、どうかなあ?」「こうしてみたらどう?」と提案したりできるのではないのでしょうか。

4/27（土）は、学習参観・学級懇談会・PTA総会です。子どもたちが、試行錯誤しながら学び合う姿や、学級づくり・仲間づくりに取り組む姿を、ぜひ、ご覧ください。